

公益社団法人山口市シルバー人材センター

平成 28 年度事業報告

事業報告

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づく公益社団法人である当シルバー人材センターは、昨年度に引き続き少子高齢化に伴う人口減少による労働力の担い手として地域づくりやコミュニティ再生に尽力し、会員の活躍の場を提供して参りました。

そのような中で、さらに平成 28 年度は大きく舵を切る年となりました。

特に重要かつ著しく実績を上げることができましたのは、請負契約から派遣契約への移行です。

当センターでは主軸を請負契約に置いておりましたが、全国的に契約内容の見直しを求められ、派遣契約へ大きく切替えざるを得ない状況に変化してきております。上部機関からの指導により、安全かつ適正な就業の機会を会員へ提供できるよう契約内容の見直しを図り、当センターの事業形態に大きな変革を行う機会となりました。

派遣契約へは、平成 26 年度で年間 4 件、平成 27 年度で年間 18 件、平成 28 年度は年間 40 件の実績を上げる事ができ、この実績により事業全体に良い実績効果を上げる事が出来ました。契約規模は事業所により様々ですが、派遣契約での就業会員が 30 人を超える事業所も有り、今後もさらに適正就業を目指して参ります。

平成 28 年度は、事業の原点に再度立ち返り

- ① 受託事業
- ② 一般労働者派遣事業
- ③ 有料職業紹介事業
- ④ 自主事業

を職員全員が一丸となって推進するため、公共、民間企業、個人・家庭を対象にした就業機会の拡大及び会員の獲得を積極的に取組みました。

また、山口市から助成して頂いている「ワンコインサービス事業」において

も広報紙への掲載や新聞折込みなどの周知に努めた結果、事業開始時から比較して2.2倍と契約数を増やすことができました。

一方、団塊の世代の方々の会員取り込みは最大の山場であり、「シルバージョブ山県」を継続して推進して参りましたが、最近の傾向として、この仕事をしたい、この会社で就業したいなど、具体的希望を持って入会される方も多く、会員と企業のマッチングにきめ細やかな対応を心がけました。また、今年度から本格的運営している「内職サロン」も積極的に取り組みました。

自主事業の「新鮮野菜クラブ」においても、第1次産業、第2次産業及び第3次産業による一貫とした第6次産業化を更に本格化させ、買い物不便地域の自立応援を推進しました。

こうしたセンターの事業を実施するに当たり、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」の推進を堅持しながら、高齢者へ就業の機会を提供するとともに内職、有償ボランティア活動を始めとする様々な社会活動を通じて地域社会へ貢献し、地域社会との結びつきを得ることができる機会の場の確保・提供に努めました。

事業結果

①	会員数	426名
②	就業の延べ人日	40,432人日
③	配分金契約金額	111,173千円
	派遣契約賃金	40,466千円
④	事務費金額	11,117千円
	派遣契約手数料	11,898千円
⑤	就業率	82%

公1-1 就業開拓提供事業

家庭、企業、公共から依頼される仕事について、高齢者には危険なもの以外は何でもご相談の上、お引き受けができる体制を確立出来ていると考えています。このような事が、市民から好評を得ているものと考えています。

新入会員、ローテーション就業会員等、一人ひとりの1ヶ月単位の就業可能日をセンター事務局が把握し「臨時的・短期的」な依頼を速やかに受注対応で

きる仕組みを構築しています。この体制が就業開拓に大きく結びつき実績を上げていますが、更に会員を獲得し公共、企業、家庭から依頼の相談を受ける「担い手不足」の仕事を拡大出来るように今後とも行います。入会から就業まで会員の希望に速やかに対応できるよう、さらに企業とのマッチング対応や当センター独自に開発した自主事業、内職サロンを活用できたと思います。

公 1 - 2 普及啓発事業

公益社団法人としての事業推進計画に基づき、中長期目標とする入会促進対策の推進の達成を視野に入れつつシルバー事業への理解を深めるため、次の事項を重点に、効果的な普及啓発活動を推進しました。

(1) 普及啓発促進月間（10月）の実施

10月の山縣市ふるさと栗まつりを「シルバーの日」と位置づけシルバーフェアの開催により多くの市民の方々にシルバーのPR活動をし、有償ボランティア活動の実施等による普及啓発活動を集中的に展開しました。

施設内トイレ掃除 4名

センターのチラシを配布するなどの普及啓発活動を行いました。

(2) 年間を通じた普及啓発活動の実施

- A 山縣市広報紙に会員募集等の広告を（年12回）掲載
- B 会員加入促進・発注者用チラシの作成とポストイン
- C ホームページを活用したPR活動の推進を活発化
- D 地方公共団体・各団体のイベントへ参加の推進
- E マスメディアを通じた広報活動の推進
- F ネットショップの推進を強化
- G 岐阜バス10台分にセンターの広告ラッピング

公 1 - 3 研修・講習事業

会員が当センターの事業理念等を理解・賛同して希望する業務分野の技能を意欲的に修得し、就業の機会につなげていくことを目的とした研修及び講習会を積極的に参加できるよう案内いたしました。

会員及び市内在住の高齢者（会員予定者）を対象に、案内書や有線放送（CCN）

などを活用し、山県市内外講師による新入会員研修、技能研修及び安全講習等を行いました。

また、平成27年度は「薬膳マイスター」の資格を会員1名が取得し実効性を上げましたが、さらに平成28年度は「賞状書き書士」に1名の会員が挑戦され、予定より早く修得することができたとの報告を頂きました。

平成28年度

4月～11月

賞状書法研修

7月27日～28日

クリーンスタッフ講習会

(岐阜県シルバー人材センター連合会主催)

8月23日

草刈り講習会

11月16日

役員講習会

(岐阜県シルバー人材センター連合会主催)

2月15日

安全運転講習会

公1-4 調査研究事業

自主事業での買物不便地域を対象とした移動販売は、販売場所の見直しを行い、各販売場所周辺の影響などを検討しながら推進いたしました。

以前実施した会員・顧客の「満足度調査」の結果を受け、リサーチ・経営コンサルタントを運営する「民間事業会社」に委託した調査結果等を基に、センターとしても更に精査のうえ、経営に活用いたしました。

また、地域住民の方との会話から日常生活の中の不便に思う内容や希望を聞き取り調査しました。山県市も高齢者の自立生活の一つと関心が高く、「元気生活応援事業」や「ワンコインサービス事業」で対応するなど、山県市福祉課や健康介護課と連携してこの事業を本格的に運用、推進いたしました。

公1-5 相談事業

入会を希望する高齢者や定年後を心配する一般市民のために、「堂々たる老人」、「60歳からが面白い」等、幅広い観点から入会相談会を実施しました。平成28年度は特に入会を促進するため「入会促進プレゼン用スライドショー」をバージョンアップし、入会説明、相談の内容を充実しました。

また、企業に対して「内職サロン」に持ち出しが可能な内職を受け入れる機

能を有している事をPRした効果が出始めており、多種に亘って内職事業を受け入れた結果、未就業会員へも会員の生活スタイルや希望に即した就業紹介を行うなどの相談会を実施しました。

公 1 - 6 安全就業推進事業

安全就業については、事故ゼロを目標にして安全対策の推進を強化してきました。また、会員自ら身体機能を良く知って健康保持・管理に努めるよう、市の健康診断受診の徹底や日常的健康管理、体力づくり等について指導・助言をしました。

適正就業については、一昨年「岐阜労働局」の指導の下、適正就業チェックシステムによるデータを分析し、また会員の就業内容や就業環境に問題がないよう発注者や会員との接触する機会を多く持ちました。それにより会員の健康管理や就業内容をより把握することができ、安全な就業を推進できたと考えます。

安全・適正就業対策を効果的に行えるよう次の事業を実施しました。

- ① 安全・適正就業推進強化月間（7月）
- ② 岐阜県シルバー人材センター連合会のパトロール指導員との連携
- ③ 意識啓発を図るための安全・適正就業推進大会、研修会への参加
- ④ 岐阜労働局の指導を基に、適正就業の徹底